地域経済協力を通じたアフリカ地域のための貿易投資促進 Facilitating Trade and Investment for African Countries through Regional Economic Cooperation		
対象国の条件: アフリカ地域(サブサハラ)		
修コース番号 : J1804344 案件番号 : 1884848 素件番号 : 1884848		
副分野課題:		
使用言語: 英語 案件概要		
アフリカ各国が、ヨーロッパ等の先進国やアジアの新興国のみならず、アフリカ域内を含めた広範囲の地域を「経済圏」と捉え、自国の比較優位を活かしながら戦略的に貿易・投資促進を行うべく、東南アジア(ASEAN)経済圏の事例等を用いて地域経済協力・統合の重要性を学び、取るべき政策・施策を検討する。また、ASEANの本部を擁し、東南アジア経済圏の域内協力を一つの要因として現在の発展の素地を築いたインドネシアで事後研修を行い、本邦研修で学ぶ理論の深化を図る。		
目標/成果	対象組織/人材	
【案件目標】 自国及びアフリカ地域がおかれている貿易・投資に係る現状の理解促進を図る。また、日本や環インド洋経済圏に位置する国々の貿易・投資促進の事例を通じて、地域経済協力・統合の概念及び具体的な取り組みを学び、自国の優位産業分析を行った上で、産業開発に資する貿易・投資強化のための政策・施策の検討を行う。	、工業省など 【対象人材】	
【成果】 (1)事前活動(来日前):自国の状況(貿易・投資実績、関連施策の現状・課題、産業分野での 強み等)を整理し、レポートを作成する。 (2)貿易・投資の基礎的理論、国際的な動向、より広範囲の経済圏を意識した貿易・投資の具体 的な政策・施策を学び、地域経済統合及び国際分業体制を念頭に入れた貿易・投資促進政策の	が望ましい)	する政策決定レベル(準高級。
重要性を理解する。 (3) 広い経済圏を意識した自国の比較優位を分析し、貿易・投資促進のためのアクションプラン をまとめる。		
(4)事後補完研修(インドネシアで実施):関連政府機関を訪問し、貿易・投資促進に係る具体的な政策・施策を理解するとともに、それらの政策・施策がどのように同国の産業発展に貢献したかを学ぶ。また、同国政府機関・民間企業との議論を通じて、アクションプランを更新する		
る。 (5)事後活動(帰国後):アクションプランを報告し、貿易・投資促進のための具体的な施策等 を検討する。		
内 容		2018/9/9~2018/9/16
<本邦研修(1週間)> ・講義・視察・討論を通じて、貿易・投資促進の基礎的理論・概念、国際的な動向について学ぶ。	本邦研修期間	
○・地域経済統合及び国際分業体制の構築を念頭に、比較優位を活かした貿易・投資促進について学ぶ。	担当課題部	産業開発・公共政策部 JICA関西(業務二)
・事前レポート及び各種文献をレビューするとともに、近隣国の研修員と議論を行い、自国の 比較優位を分析した上で、産業開発に結び付けるための具体的な政策・施策を検討し、アクションプランを作成する。		
・日本企業を対象とした公開フォーラムを実施し、研修員がプレゼンテーションを行う。	所管国内機関	
<インドネシア在外補完研修(1週間)> ・関連政府機関の訪問を通じ、自国の比較優位を生かし現在の発展を築いた経験について学ぶ		
。 ・同国政府により支援を受けた企業訪問を通じて、政府の企業支援の効果を学ぶとともに、日 系企業の海外進出事例を視察する。		
	関係省庁	
八米田田江 1 土田沙 1 牡杏冻上 7 万	実施年度	2016~2018
公益財団法人 太平洋人材交流センター 主要協力機関		
コースリーダーは、京都大学大学院・高橋基樹教授に依頼。		
特記事項		
及び ホームページ		
!		